

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	武蔵村山市環境審議会
開 催 日 時	平成26年10月23日（木）（午後2時～午後4時40分）
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：柳下佳仁会長、熊木正好副会長、吉田洋市委員、高木宏友委員、田島せつ子委員、加藤大明委員、川島修委員、菅原淳子委員、梅村清委員（9名出席） 欠席者：中山忠委員（1名欠席） 事務局：廃棄物・下水道担当部長、環境課主査（環境保全グループ）、環境課主任（環境保全グループ）、環境課主事（環境保全グループ）（4名出席）
議 題	1 平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価について 2 その他
配 布 資 料	・次第 ・武蔵村山市環境審議会委員名簿 ・平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：市長からの諮問を受けて、環境審議会委員が「平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）」の事業実施報告及び重点的取組実施報告について審議した。審議した結果、会議の時間内で、点検・評価が全て終わらなかったため、次回の審議会に持ち越しとなった。また、環境審議会の指摘事項を各主管課に確認し、次回の審議会で委員に報告することとした。 議題2：次回の環境審議会の日程については改めて連絡することとした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (○=委員、 ●=事務局等)	議題1 平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価 【説明要旨：平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）を参照】 ●平成25年度武蔵村山市環境基本計画に基づく（武蔵村山市年次報告書）の内容と評価について説明。 【主な意見等】 ○平成25年度の環境施策で C、D の項目について、平成24年度の取組で評価が C、D ということ踏まえ、平成25年度の取組では、各主管課がどのように取り組み、改善しようとしたのか、また、現在、平成26年度ではどのような取組を行っているのかを教えてください。 ●各主管課に確認し、次回の審議会で委員に報告することとした。 ○15ページ、環境指標の1段目、「体験型市民農園の設置箇所数（箇所）」で、目標は6であり設置箇所数を増やす取組は行ったのか。また、目標は変更できないのか。 ●平成25年度は、設置の呼び掛けを行ったが、設置希望者がいなかったため、引き続き呼び掛けを行っている。また、環境指標の目標は武蔵村山市環境基本計画（改定版）で定められており、今後、武蔵村山市第二次環境基本計画策定の際に決めていくこととした。 ○同ページ、環境指標の2段目、「農産物直売所の箇所数（箇所）」で平成23年度から平成25年度にかけて17箇所減少しているが、現在、

農産物直売所の箇所数の減少への対策は行っているのか、対策をしているのであれば、記載してはどうか。

- 主管課（産業観光課）に対して確認し、対策を行っているのであれば、記載することとした。
- 同ページ、環境施策の方向と市の取組の3段目、「体験型市民農園の充実を図ります。」では、「現在2箇所、130区画整備済（うち利用区画は104区画）」と記載されているが、平成24年度の年次報告書と記載内容が異なっているため、変更理由を教えてください。
- 平成24年度では、体験型市民農園2箇所、104区画利用しているといった表現で記載していたが、平成25年度では、環境推進委員会で、何区画整備されていて、そのうち利用区画はいくつなのか記載されている方が適当であるということで、変更している。
- 16ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目、「地産地消を促進するため、Food（風土）グランプリの開催を推進します。」では、来場者数が大きく増加したため、A評価となっているが、来場者数に目標値があるのか、ある場合目標値がいくつなのかを記載した方がいいのではないか。
- 主管課（協働推進課）に対して、目標値があるのか確認し、目標値があれば記載することとした。
- 17ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目、「街路樹を適正に整備し、緑化を推進します。」では、せん定を1700本実施したとのことだが、目標のせん定本数があったのではないかと、あれば記載をいただきたい。
- 主管課（道路公園課）に対して、目標値があるのか確認し、あれば記載することとした。
- 同ページ、環境施策の方向と市の取組の7段目、「街路灯等は周辺環境を踏まえた上で適正な維持管理に努めます。」では、道路照明及び防犯灯をLEDに459基交換とあるが、平成24年度の年次報告書では、377基と記載されており、この数字は今までの累計なのか、全体の数としては何基交換されているのか記載した方がいいのではないかと。
- 主管課（道路公園課）に対して確認し、記載することとした。
- 同ページ、環境施策の方向と市の取組の8段目、「道路の適正な維持管理に努めます。」で、部分補修92箇所と記載されており、平成24年度の年次報告書の中でも、部分補修92箇所と記載しているが、以前、知人が市役所へ道路の補修を依頼し、直してもらった経緯があり、昨年度と同じ補修箇所になるとは考えにくいと、ということなのか教えてください。
- 現場の市職員が直営で実施した部分補修の実施箇所だと考えられるが、再度、道路の部分補修の箇所数については確認することとした。
- 21ページ、環境指標1段目、「地下水の環境基準の達成状況」で、現在、継続監視を行っている三ツ木一丁目地内の井戸について、多摩環境事務所で再度、対応確認を行い、報告書に記載してはどうか。
- 多摩環境事務所に確認を行い、追記することがあれば記載することとした。
- 22ページ、環境指標4段目、「ダイオキシン類の水質環境濃度」では、残堀川の数値が平成24年度よりも増えているが、問題はないのか。また、数値が増えたことについて注釈を記載した方がいいのではないか。
- 環境基準を超えていないため、注釈は入れるべきでないと判断しており、記載しないこととした。

- 23ページ、環境指標で「公用車における低公害車の導入台数（台）」について、平成24年度の年次報告書と平成25年度の年次報告書の導入台数が違うのはなぜか教えていただきたい。また、総保有台数を記載した方がいいのではないかと。
- 改めて、委員に報告することとした。また、主管課に確認し、総保有台数等を追記することとした。
- 同ページ、環境施策の方向と市の取組の8段目、「大気の調査を定期的に行います。」の主要幹線道路環境調査に合わせ二酸化窒素濃度調査を13地点で1回実施となっているが、20ページの環境指標1段目、「道路沿道における二酸化窒素濃度」では、調査地点が9地点であるが、残りの4地点はどこなのか教えていただきたい。
- 道路沿道とは別に市内の4施設（市役所、残堀伊奈平地区学習等供用施設、三ツ木地区学習等供用施設、大南地区学習等供用施設）で調査を実施している。
- 25ページ、環境施策の方向と市の取組の2段目、「都や周辺市町と連携して、横田基地や立川基地周辺の航空機騒音防止対策を進めます。」で、横田基地についての記載はあるが、立川基地について記載がないため、記載した方がいいのではないかと。
- 「横田基地周辺市町基地対策連絡会において、関係機関に対し要請。」を「立川基地飛行場環境対策会議において、関係機関に対し要請。」と変更することとした。
- 同ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目、「道路の新設や既存道路の改修の際には、周辺環境に配慮した舗装の採用を進めます。」で、事務局から評価理由について説明があったが、その評価理由を記載してはどうか。
- 「低騒音舗装の採用について検討。（低騒音舗装の工事費及び維持管理費が普通舗装に比べ、高額等の理由から、採用には至っていないが、今後、費用対効果等の検討を進めていく。）」と変更することとした。
- 26ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目、「ダイオキシンの測定調査を定期的に行います。」では、「産業廃棄物焼却施設2事業所で、排ガス中のダイオキシン類及びばいじん調査を1回実施。【再掲】」とあるが、前の何ページに記載されているのか教えていただきたい。
- 23ページ、環境施策の方向と市の取組の4段目、「工場・事業所からの排出ガスについて指導を行います。」の項目で記載している。
- 28ページ、環境施策の方向と市の取組の5段目、「公共施設における自然エネルギーの活用を図ります。」では、「塚塚小学校及び第一中学校で太陽光発電の電力を校内消費する電力の一部として使用。」とあるが、市内の他の学校についても自然エネルギーの活用を図っていく予定なのか教えていただきたい。
- 市の実施計画では、各学校で自然エネルギーを活用し計画的に推進していくことになっており、今後も、順次、各学校に自然エネルギーの設備を導入していき、当該項目にも追記していくこととしている。
- 29ページ、環境指標の5段目、「最終処分量（t/年）」について、一人当たりで換算するとごみの排出量はどのくらいになるのか教えていただきたい。
- 同ページ、環境指標の2段目の「収集ごみ量原単位」で、一人当たりの一日に排出するごみの量を確認することができる。
- 同ページ、環境施策の方向と市の取組の3段目、「生ごみ処理機器に対する助成金を充実し、普及を推進します。」では、「生ごみ処理機器購

	<p>入に対し補助金を支給。（18件、411,800円）」と記載されており、平成24年度も同じ件数であるが、金額が違うのはなぜか教えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●購入額に対して、補助を行っているためである。 ○32ページ、環境施策の方向と市の取組の3段目、「公用車に低公害車（電気自動車を含む）の導入を推進します。」では、23ページの環境指標と整合性を取る必要があるため、わかりやすく記載をした方がいいのではないか。 ●23ページの環境指標と整合性を取り、内容をわかりやすく記載することとした。 ○全体を通して、平成25年度の取組状況を確認したところ、全部で293項目、再掲は64項目あり、2割以上が同じ内容になっていることから、新たな環境基本計画策定の際に再掲を少なくするよう検討したいと考えているが、今の環境審議会の委員のまま環境基本計画の策定に携わることができるのか教えていただきたい。 ●武蔵村山市第二次環境基本計画は、今年度と来年度で策定を行っていくことになっているため、来年の9月末の委嘱期間までは策定に携わることができる。 ○議題1の「武蔵村山市年次報告書の点検・評価について」は終了とする。 <p>議題2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 議題2の「その他」に入るが、事務局から何かあるか。 ● 次回の武蔵村山市環境審議会の開催日は、今年中を予定しており、詳しい日程については、改めて連絡することとする。 ○ 武蔵村山市環境審議会を閉会する。 <p style="text-align: right;">—以上—</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： <u>0</u> 人</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin-top: 10px;"></div>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：)</p>
---------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>生活環境部</p>	<p>環境課</p>	<p>(内線：295、296)</p>
--------------	--------------	------------	---------------------

(日本工業規格A列4番)